

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	13	共生社会
基本方針		
多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会を目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
男女共同参画の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
国際交流事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
市民ボランティア活動および外国人市民への日本語指導などの支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
多文化共生への理解を深める講座などの実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策13「共生社会」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「市民だれもが、性別や国籍になどに関わらず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会を目指す」ことであり、「男女共同参画の推進」においては、さまざまな事業を実施することで、男女共同参画の基本的な考え方を市民等へ浸透させていく上で、一定の効果を発揮しているほか、「多文化共生への理解を深める講座などの実施」においては、外国籍市民支援団体と連携した講座の実施により、多文化共生の理解の促進に取り組んだ。</p> <p>また、「国際交流事業の推進」では、市民だれもが地域でともに生きる社会の形成に必要不可欠である国際交流の促進を図るため、東京2020大会を契機とした取組みを進めるなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
--

1.基本項目

事業名	作成部署	企画総務部			企画政策課	
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 男女共同参画の推進	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	子育て相談課、健康課、生涯学習センターゆとろぎ					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	13	共生社会	管理No.	68	

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	男女共同参画の考え方が市民や地域、企業などに浸透し、それぞれが主体的に取り組めるよう、啓発活動を行うとともに、「女性の活躍推進」や「あらゆる暴力の根絶・安心な暮らしの実現」などに関する事業に取り組みます。
根拠法令	男女共同参画社会基本法
条例	羽村市男女共同参画基本条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	男女共同参画推進会議 5回	同左 5回	同左 5回	同左 5回
	意識啓発事業 (男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動、啓発記事「Weave」「ミニコラム」の掲載)	同左	同左	同左
	女と男、ともに織りなすフォーラム 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	男女共同参画研修会1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	男女共同参画講演会1回	家事・育児参画推進講座1回	同左 1回	同左 1回
	女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン支援セミナー 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	192 H	1人	192 H	1人	192 H	1人	192 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	1,442	1,312	1,312	1,312
人件費(係長職)	955	955	955	
人件費(主任・主事職)	1,598	1,598	1,598	
総事業費(合計)	3,995	3,865	3,865	1,312
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	3,995	3,865	3,865	1,312
財源内訳(合計)	3,995	3,865	3,865	1,312

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

「第4次羽村市男女共同参画基本計画」に沿って、啓発事業や講座等を実施したほか、男女共同参画推進会議を5回開催し、市の男女共同参画に関する取組みに対し、ご意見をいただいた。

啓発事業では、毎年行っている男女共同参画週間啓発事業や女性に対する暴力をなくす運動、女と男、ともに織りなすフォーラムを開催するとともに、広報はむら等に啓発記事の掲載を行った。また、講座等では、女性の社会復帰等を支援するための女性のキャリアデザイン支援・チャレンジ支援講座や、父親の育児参画を促す家事・育児参画推進講座、市若手職員向けのキャリアデザインに関する研修会を、関連各課と連携して開催した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,312		1,312	972	74.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	192 H	1人	480 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	192 H

④事業量(活動量)

実施計画
○男女共同参画推進会議 5回 ○意識啓発事(「Weave」「ミニコラム」の掲載) ○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回 ○男女共同参画研修会1回 ○家事・育児参画推進講座 1回 ○女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン支援セミナー 2回

⇒

今年度実績
○男女共同参画推進会議 5回 ○意識啓発事(「Weave」1回「ミニコラム」3回) ○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回 ○男女共同参画研修会1回 ○家事・育児参画推進講座 1回 ○女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン支援セミナー 2回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「第4次羽村市男女共同参画基本計画」に沿って、さまざまな事業を実施することで、男女共同参画に関する意識啓発に努めてきた。また、事業におけるアンケートでは、事業に対して概ね良い結果を得ていることから、男女共同参画の基本的な考え方を市民等へ浸透させていく上で、一定の効果を発揮しているものと捉えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

男女共同参画社会の実現のためには、継続的な意識啓発を行うことで市民や事業者の意識を変えていく必要があることから、第4次羽村市男女共同参画基本計画に基づき、引き続き啓発事業等に取り組んでいく。事業の実施にあたっては、輝プロジェクトの視点をもとに、組織・施策横断的な視点を持ち、効果的かつ充実した内容を検討し、事業の充実を図っていく。また、事業に対する参加者の満足度は高いことから、さらに多くの方に参加してもらえよう、関連部署と連携した周知方法等を検討していく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 国際交流事業の推進		不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課		東京オリンピック・パラリンピック準備室				
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	13	共生社会	管理No.	69

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	東京2020大会に向けた取組みを契機に、海外の都市との交流や国際交流団体と連携した外国人との交流事業などの推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	国際交流団体等の発掘	同左	同左	同左
	国際交流に関する情報収集	同左	同左	同左
	西多摩地域広域連携によるホスタウン登録申請	同左	広域的取組みの実施	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	498	498	498	498
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	498	498	498	498
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	498	498	498	498
財源内訳(合計)	498	498	498	498

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○国際交流に関する情報収集を行うとともに、国際理解を推進するための講座の開催や、キルギス共和国男子柔道チームによる東京2020大会の視察を兼ねた事前キャンプの受入れを契機とし、今後の交流等の検討を行った。
 ○西多摩地域広域行政圏協議会においては、西多摩8市町村による米国ホストタウン登録申請が審査の結果、継続審査となり、アメリカの競技団体の受入れや交流について検討を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○国際交流団体等の発掘 ○国際交流に関する情報収集 ○西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請	⇒ <ul style="list-style-type: none"> ○国際交流団体等の発掘 ○国際交流に関する情報収集 ○国際理解を推進するための講座の開催 ○キルギス共和国男子柔道チーム事前キャンプの受入れを契機とした交流等の検討 ○西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請に関する協議

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 () 	A
効(手法性) <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 () 	A
有(成果性) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった 	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

多様な価値観や文化を持った誰もがともに生きる社会の形成には、国際交流等を通じた相互理解の促進が大切であり、東京2020大会を契機とした取組みを進めている事業である。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

国際交流事業の推進において大切となる、多様な価値観や文化の相互理解に係る市民向け講座の開催や、キルギス共和国男子柔道チーム事前キャンプの受入れを契機とした交流等の検討を進め、東京2020大会を契機とした国際交流の取組みが具現化できるよう取り組んでいく。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活 部			地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	市民ボランティア活動および外国人住民への日本語指導などの支援	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	13	共生社会	管理No.	70

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	外国人住民を対象に、日本語指導や市民生活に必要なルール説明などを行う市民ボランティア活動や、東京2020大会を契機に来日する外国人観光客などに対する案内等のおもてなしを行う市民ボランティア活動を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供	同左	同左	同左
	日本語指導団体との連携	同左	同左	同左
	東京2020大会に向けたボランティア事業の検討	同左	東京2020大会に向けたボランティア事業の実施 1回	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			25	
人件費(係長職)	199	199	199	199
人件費(主任・主事職)	134	134	134	134
総事業費(合計)	333	333	358	333
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	333	333	358	333
財源内訳(合計)	333	333	358	333

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- 問合せに対する外国籍市民支援団体の紹介
- 日本語支援ボランティア入門講座(後援事業)の実施(10月13日)
- 東京2020大会に向けた事業の検討を行い、来年度に世界の文化講座を拡充して実施する。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> ○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ○日本語指導団体との連携 ○東京2020大会に向けた事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ○日本語指導団体との連携 ○東京2020大会に向けた事業の検討を行い、来年度に世界の文化講座を拡充して実施する。

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

外国籍市民支援団体の紹介などを行うことで、外国籍市民の生活向上の一助とすることができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

東京2020大会に向けて世界の文化講座を拡充して実施する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	市民生活 部			地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 多文化共生への理解を深める講座などの実施		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	13	共生社会	管理No.	71

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	多文化共生の理解を促進するため、講座や交流事業、相談事業を実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	世界の文化講座等 1回 市民活動相談 84件 (平成29年12月末現在)	同左 1回 同左	同左 1回 同左	同左 1回 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H	1人	100 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	15	15	15	15
人件費(係長職)	199	199	199	199
人件費(主任・主事職)	333	333	333	333
総事業費(合計)	547	547	547	547
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	547	547	547	547
財源内訳(合計)	547	547	547	547

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

- 市民活動相談の受付(相談件数113件)
- 世界の文化講座の実施(11月17日17人参加)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	15	1	16	16	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	100 H	1人	100 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○世界の文化講座等 ○市民活動相談	⇒ ○世界の文化講座の実施1回 ○市民活動相談113件

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

外国籍市民支援団体の紹介などを行うことで、外国籍市民の生活向上の一助とすることができた。また、外国籍市民支援団体と連携して講座を行うことで、多文化共生の理解の促進を図ることができた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

多文化共生の理解を深めるため、今後も市民団体の協力を得ながら世界の文化講座を実施していく。